南関東12月街角景気、5カ月ぶり低下 物価高騰が影響

#東京 #埼玉 #千葉

2023/1/12 17:31

内閣府が12日発表した2022年12月の景気ウオッチャー調査（街角景気）で、南関東（埼玉、千葉、東京、神奈川）の現状判断指数（DI、季節調整値）は48.3と前月から0.3ポイント下がった。企業経営を圧迫する物価高などを背景に、5カ月ぶりに低下した。

調査は12月25～31日に実施した。住宅販売会社からは「資材の高騰によりコストダウンが難しい」との声が上がった。職業安定所は「ここ5カ月ほどは飲食や宿泊などの求人が全体をけん引してきたが、直近2カ月で急速に落ち込んでいる」と回答した。

一方、「行動制限のないクリスマスや年末商戦で、売り上げは順調に伸びている」とする百貨店もあった。

2～3カ月後の景気を表す先行き判断DIは45.5で、前月比1.6ポイント上がった。「23年も商材の値上げが控えているため、客が価格により敏感になってくる」（スーパー）などのコメントがあった。

内閣府が12日発表した2022年12月の景気ウオッチャー調査（街角景気）で、南関東（埼玉、千葉、東京、神奈川）の現状判断指数（DI、季節調整値）は48.3と前月から0.3ポイント下がった。企業経営を圧迫する物価高などを背景に、5カ月ぶりに低下した。

調査は12月25～31日に実施した。住宅販売会社からは「資材の高騰によりコストダウンが難しい」との声が上がった。職業安定所は「ここ5カ月ほどは飲食や宿泊などの求人が全体をけん引してきたが、直近2カ月で急速に落ち込んでいる」と回答した。

一方、「行動制限のないクリスマスや年末商戦で、売り上げは順調に伸びている」とする百貨店もあった。

2～3カ月後の景気を表す先行き判断DIは45.5で、前月比1.6ポイント上がった。「23年も商材の値上げが控えているため、客が価格により敏感になってくる」（スーパー）などのコメントがあった。